

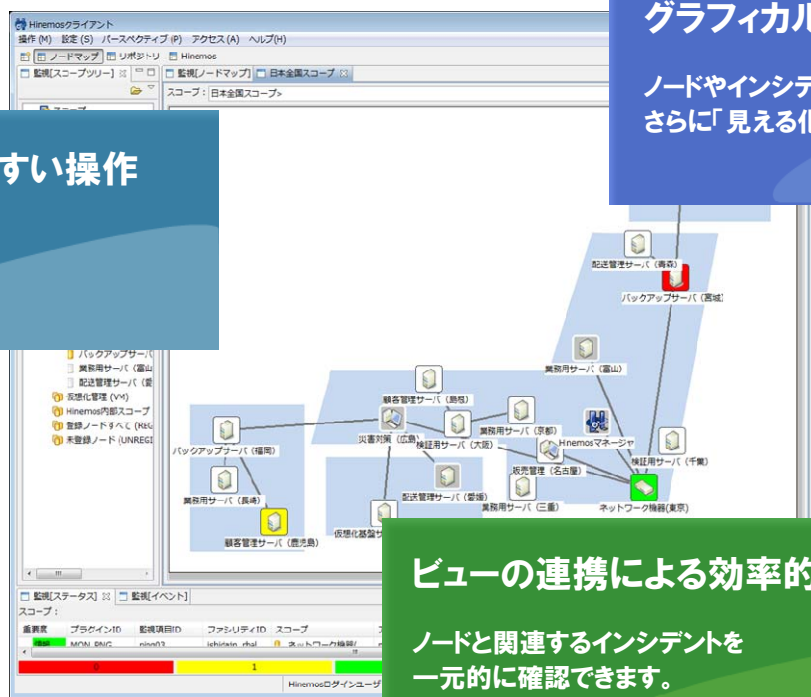
ノードマップオプションは、従来のイベントやスコープの概念を二次元のマップ上に拡張し、監視対象をグラフィカルに表現することで、インシデントのさらなる「見える化」を実現する有償オプションです。ノードマップオプションはHinemosクライアントが動作する全ての環境への導入が可能ですので、環境を選ばず幅広くご利用いただけます。

直感的でわかりやすい操作

簡単な操作での運用管理が可能です。

グラフィカルな監視画面

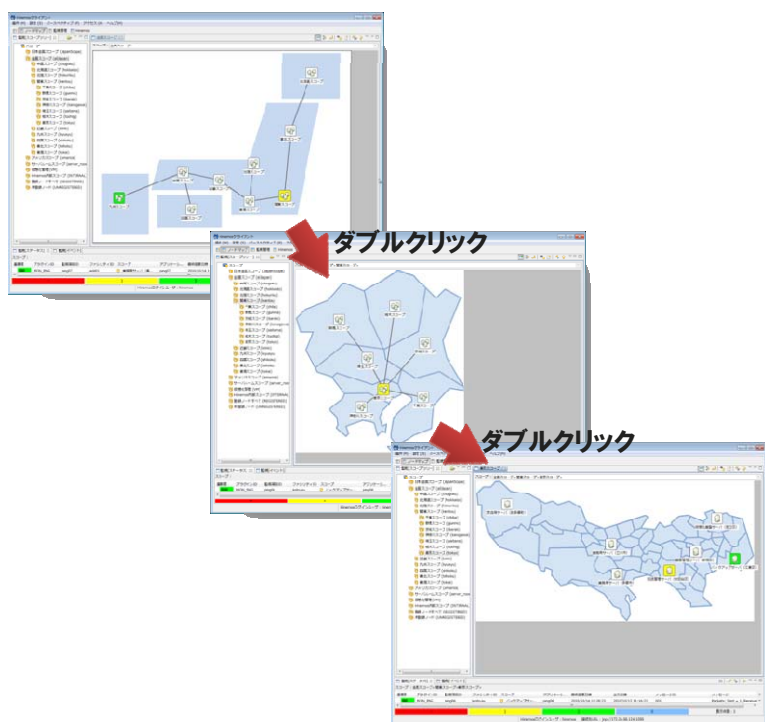
ノードやインシデントをさらに「見える化」します。



ビューの連携による効率的な運用

ノードと関連するインシデントを一元的に確認できます。

グラフィカルな監視画面



機能

ノードやスコープ、背景に画像ファイルを適用することで、監視対象をグラフィカルに確認できます。インシデントの重要度がアイコンの背景色に反映されるため、アイコンを視認するだけでインシデントの発生しているノードを特定できます。また、二次元マップに表現されたリポジトリを、エクスポラ風に移移できます。

メリット

監視対象の状態の視認性が向上するため、インシデントの発生ノードをスムーズに特定できます。

直感的でわかりやすい操作

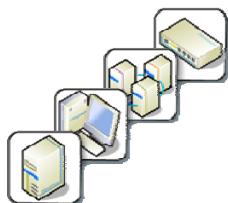
アイコン移動



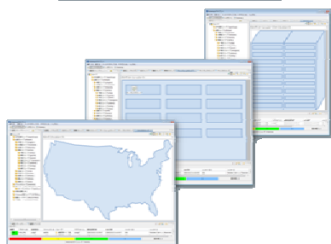
コネクタ接続



アイコン設定



背景設定



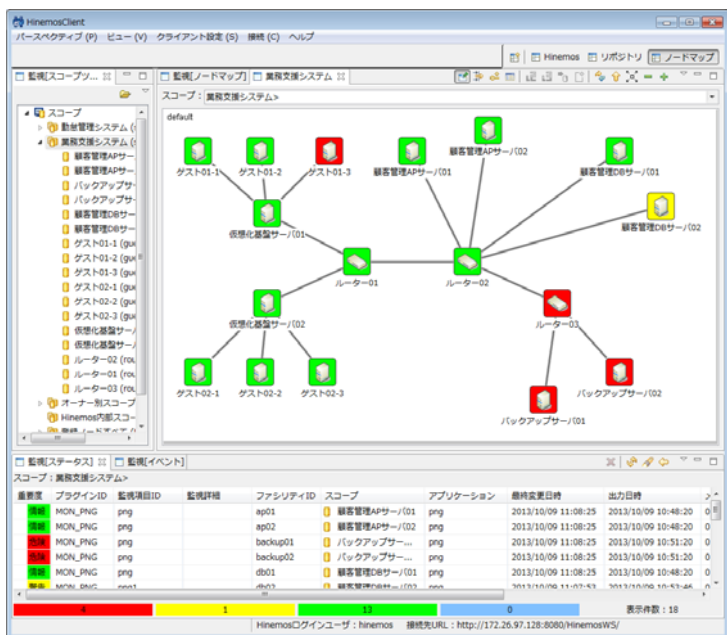
機能

操作ボタンの利用やドラッグアンドドロップにより、アイコンの移動やノード間のコネクタの接続、アイコンや背景画像の登録・変更など、さまざまな設定を直感的に変更できます。アイコンや背景画像には任意の画像ファイルを利用できます。

メリット

運用者にとってなじみやすいインターフェースでの操作が可能であるため、設定変更などのオペレーションの負担を軽減できます。

ネットワークポロジの可視化



機能

ネットワークポロジ構築ボタンをクリックすると、データリンク層（レイヤ2）もしくはネットワーク層（レイヤ3）のネットワークポロジを表示します。新たな接続が発生した場合や、接続が切れた場合も、わかりやすく表示します。

メリット

サーバ、ネットワーク機器の間のネットワークが直観的に理解できます。ネットワークが通じていない場合に、どの接続に問題があるのか即時にわかります。

動作環境

ノードマップオプション ver1.3は Hinemosクライアント ver4.1に対応しています。
なお、Hinemosマネージャへのインストールは不要です。

株式会社NTTデータ
基盤システム事業本部

TEL: 050-5546-2496
E-mail: osdquery@nttdata.co.jp
Hinemosポータルサイト <http://www.hinemos.info/>

Hinemos®は、(株)NTTデータの登録商標です。Hinemosノードマップ®は、(株)NTTデータの登録商標です。
その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

2013年11月版